

報道資料

第3回全国障がい者スポーツ吹矢競技会 開催

(社)日本スポーツ吹矢協会は、この度、第3回全国障がい者スポーツ吹矢競技会を開催します。
この競技会は障がい者会員を対象とし、全国大会として遠く九州や四国から、約 120 名が参加し、日頃の練習の成果を競います。

当協会は現在、会員数 2 万 1 千人、地域支部は 530 支部となり、「誰でも」「いつでも」「どこでも」手軽にできる健康スポーツとして世代を問わず親しまれております。最近では障がい者スポーツとしての認知も進んでおり、リハビリテーションの一環としてだけでなく、人と集い、仲間とともにスポーツを楽しみたいと社会参加の一助となっていることが、各自治体や社会福祉関連団体からも高く評価をいただいております。

尚、現在、障がい者会員は約 500 名で年々増えており、身体・知的・精神障がい者に亘っております。

◆ 第 3 回障がい者スポーツ吹矢競技会 概要

開催日時 ; 平成 22 年 9 月 24 日(金) 午後0時 45 分開会(正午受付開始)

開催会場 ; 東京・港区スポーツセンター(東京都港区芝浦 3-1-19 JRほか「田町」3 分)

開催内容 ; 【競技会個人戦】 4ラウンド(1 ラウンド= 5 本)の合計で得点化します

【競技部門】 ①5m ②6m ③8m ④10m ⑤固定用具の計 5 部門

会場内に、無料体験コーナーも設置、障がい者サポート部の指導員のもと、体験していただけます

参加資格 ; ①協会員 ②障がい者手帳交付者、あるいはその対象に準ずる障がいのある方
③介助が必要な方は必ず同席のこと

参加人数 ; 120 名 ※定員に達しておりますので参加者募集は締め切りました

共催 ; 港区

後援 ; 文部科学省、(財)港区スポーツふれあい文化健康財団

協賛 ; キリンビール(株)様、持田製薬(株)、和光堂(株)、(株)東京ひよこ、(株)太田胃散 他

● 最新協会プロフィール、及びスポーツ吹矢については協会案内・HP 等をご参照ください



(競技会風景より 左:競技中 中央:全員集合 右:体操)

■ この件に関するお問い合わせ先 ■

社団法人日本スポーツ吹矢協会 広報部

TEL: 03-3543-1071 FAX: 03-3543-1072

参考資料

◆障がい者サポート部、及び本協会の障がい者向け活動状況について

【障害者サポート部】

協会では、平成 18 年 12 月に【障がい者サポート部】が発足し、3 月より正式に活動をスタート。障がい者の在籍する地域支部の活動支援をはじめ、障がい者を指導する指導員の育成にも力を注いでまいりました。平成 20 年には「障がい者スポーツ吹矢連絡協議会」を設置し、協会本部と各地域支部との情報を共有化し、体験会のサポートなど、ますますの運動を図っていくため体制強化しております。

平成 20 年 9 月に「第 1 回障がい者スポーツ吹矢競技会」を開催。

●障害者サポート部 荒井和子部長

①リハビリテーションの一環としてのスポーツ吹矢

スポーツ吹矢は、「誰でも」できるスポーツです。

障がい者も健常者と同じように練習を重ねており、その人に合った補助具を用いたり、指導の工夫をしております。障がい者の段級位保持者や公認指導員も増えてきており、また各地で障がい者向けの体験会も活発化してきました。

本年 3 月には、東京都杉並区身体障害者協会から地域支部も誕生しました。

＜これまでの実績＞

脳梗塞・くも膜下等による半身不随

喘息、公害病など呼吸器系疾患

パーキンソン病

聴覚・視覚障がい者

知的障がい者

精神障がい者（統合失調症）

精神疾患（うつ、パニック障がい等）

等

※医療関係者より注目を集めています

スポーツ吹矢の特長である「誰でもできる」こと「スポーツ吹矢式呼吸法」を使ったスポーツであることが、多くの医療関係者の注目を集めております。呼吸器の専門医である協会顧問の荒井他嘉司先生（国立病院機構災害医療センター名誉院長）、早くからリハビリテーションとしてクリニックのプログラムに取り入れていただいている八子芳樹先生（理事／YAGOメディカルクリニック・スポーツドクター・健康運動指導士／福島県）をはじめ、臨床の現場での導入や研究など、スポーツ吹矢の健康的・精神的な効果に着目していただいております。

○パーキンソン病（川嶋乃里子／会員／川嶋クリニック 神奈川県）

○地域統合医療（山本竜隆／会員／朝霧高原診療所 静岡県）

②介護予防運動 ～高齢者にも最適

介護予防運動とは、いつまでも自分の手足で元気に動けるよう、足腰の衰えや頭の衰えを予防する運動のことをいいます。病気の予防ではなく、要介護の予防としてこれからの高齢化社会に必要とされ注目を集めている「元気に長生き」の新しい概念です。

スポーツ吹矢を通して、地域行政と運動し、社会参加の基盤づくりを積極的に支援しています。